

## 「あらいふあーむ」で農作業を体験 美瑛高校フードデザイン食育活動

文（一部加筆）・写真、美瑛高校提供

美瑛高校3学年選択科目「フードデザイン」において、6月25日に選択者5人が町内藤野の「あらいふあーむ」さんを訪れ、トウモロコシの種植え、イチゴとニンニクの収穫体験を行いました。食育活動の一環として地域食材の収穫を体験、その魅力を理解させることにより、地域の産業および食育に関する意識を高めることを目的としたもので、この科目ではこれまで、地元の食材を生かした取り組みを実践しています。作物を育てる



ところから生徒に「食」について考えてもらいたいと収穫体験を採り入れています。体験では、「あらいふあーむ」さんが取り組んでいる農業や化学肥料を使用しない



作物づくりの説明を受け、土に触れることから収穫までを体験させてもらいました。新井代表の指示のもと、生徒たちは手際よく作業を行

い、終えた時には満足そうな笑顔を見せていました。終了後は、新井代表から「人に喜んでもらえる仕事としての農業の魅力」や、「これからの農業の考え」といった話を聞き、一人ひとり今後の進路実現に向けた考えを新たにしていたようでした。生徒からは「人の役に立つ仕事で、体によい食材を作っている現場を見て地元食材の良さを改めて知った。今回の体験を機に、地元をもっと理解していきたい」といったなどの感想が聞かれました。美瑛高校では、今後も地域と連携した取り組みを推進し、生徒の資質・能力の育成を図っていきます。